

## 中筋川ダム防災操作により河川水位を低減

～平成29年9月台風18号における速報～

- 台風18号の豪雨により、中筋川ダム上流域では、9月16日1時から17日18時までの累計雨量で約217mm、最大時間雨量で約35mm(17日14-15時)の降雨となりました。
- この豪雨により中筋川は下流の磯ノ川地点で、はん濫注意水位(5.50m)を超える出水となりました。
- 大雨に備えてダム貯留量を増やすため、平成29年9月15日11時00分から洪水貯留準備操作を行って貯水位を約47cm低下(H=67.50mから67.03mまで)させ、洪水貯留に備えました。
- 中筋川ダムでは、ダムへの最大流入量(毎秒約57m<sup>3</sup>)の約80%をダムで貯留し、ダム流下量を毎秒約11m<sup>3</sup>に低減しました。これにより下流の磯ノ川地点の水位を約40cm低下させ、浸水被害の軽減に役立ちました。また、横瀬川ダムが完成していた場合は、さらに約20cmの水位低減効果が期待できたと推測されます。

※本資料の数値等は推定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

平成29年9月18日  
国土交通省 四国地方整備局  
中筋川総合開発工事事務所

### 問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 中筋川総合開発工事事務所

電話(0880)66-0142

副所長	森本 修三	内線(204)
管理課長	江口 正則	内線(6121)
◎調査設計課長	渡辺 雄二	内線(351)

◎主な問い合わせ先

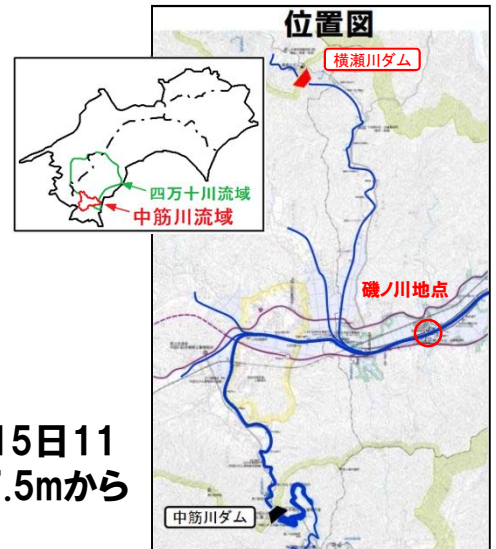
# 中筋川ダムにより河川水位を低減 ～平成29年9月台風18号における速報～

**217mm(時間最大35mm)の雨**

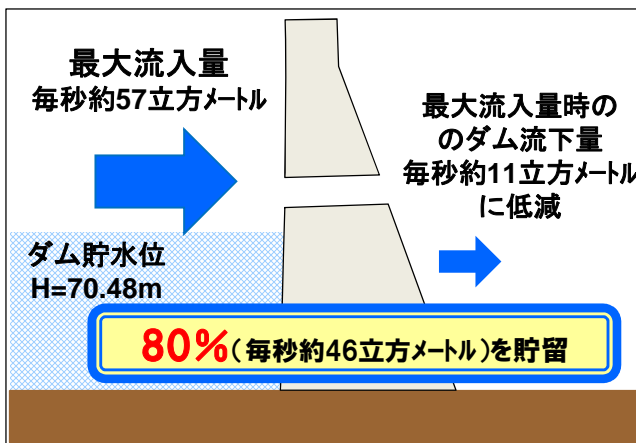
中筋川ダム上流域において、9月16日1時～9月17日18時にかけて **累計約217mm(時間最大約35mm)**の降雨となりました。

**洪水貯留準備操作により中筋川ダムの貯水位を約50cm低下**

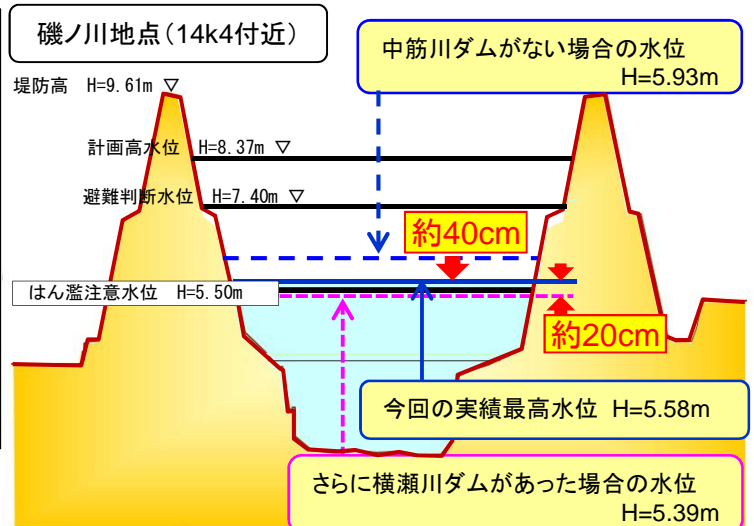
**大雨に備えてダム貯留量を増やすため、平成29年9月15日11時00分から洪水貯留準備操作を行って貯水位をH=67.5mから約50cm低下させ、洪水貯留に備えました。**



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したもの(承認番号 平23四複、第84号)を一部転記したものである。



中筋川ダムの防災操作状況  
(9月17日17時40分)



※上記(H:量水標)の値に0.577mを加えた値が標高(m)となります。

**中筋川ダムにより80%を貯留**

中筋川ダムへの最大流入量**毎秒約57立方メートルの80%を貯留**し、ダム流下量を**毎秒約11立方メートルに低減**しました。

**中筋川ダムにより河川水位を約40cm低減**

中筋川ダムの防災操作により、**磯ノ川地点で約40cm水位を低減**させました。  
建設中の横瀬川ダムが完成していた場合は、更に**約20cmの水位低減効果が期待**できます



磯ノ川地点(9月17日18時30分撮影)

※本資料の数値等は推定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。



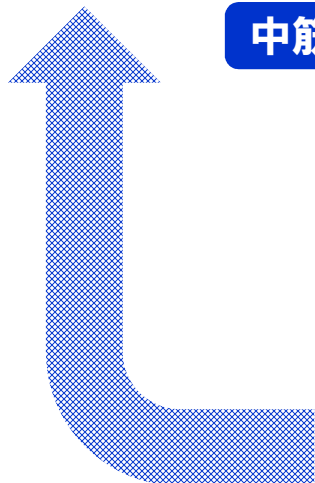
# 中筋川ダムにより河川水位を低減 ～平成29年9月台風18号における速報～

中筋川ダムの防災操作後の貯水位  $H=72.59\text{m}$

(9月18日9時00分)



中筋川ダムの防災操作前の貯水位  $H=67.11\text{m}$



(9月16日9時00分)